

<p>町内会事務所は 祝日を除く月曜日～ 金曜日の 10 時から 16 時まで開いていま す</p>	<h1>町内会だより</h1> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">新年号</p>	<p style="text-align: center;">玉川学園町内会 町田市玉川学園 2-19-5 Tel/Fax : 042-725-0438 E-mail:t-chounaikai194@bz03.plala.or.jp http://www.tamagawagakuen-chonaiikai.net</p>
--	---	--

町内会に何ができるでしょうか？

— 会長 松香光夫 —

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

玉川学園町内会は大きな信条として「人にやさしい安心して住むことのできる明るいまちづくり」を掲げています。皆さんの日々の暮らしに、このスローガンが活かされているでしょうか。

町内会の仲間（会員）は約 4 千世帯で、町田市の中ではダントツ（断然トップ）の大きな団体ですから、色々な方がおられて、良いまちだとほめてくださる方から、マダマダと注文を抱えている方まで様々でしょう。

突然個人的な事情になりますが、私は「玉川学園(学校)」で、キリスト教の「求めよ、さらば与えられん」という言葉を教わりました。望み続ければ（そして努力をした時に）その望みが叶うというものです。日常の問題や課題も、それに取り組んでいれば解決が見えてくるときが来るのでしょうか。

一人の問題として抱え込まず、組織としての町内会に提起してみてもどうでしょうか。町内会では、冒頭に掲げた信条をもって活動をしているのですから。最近では、学校や、福祉団体などとも手を組んで幅広い協力のできるしくみ（地区協議会）も動き出しました。

タイトルの呼びかけには、もう一つの方向性が含まれています。皆さんの立場で、町内会のために何ができるかということです。皆さんの力をぜひ貸していただきたいのです。色々な立場の方が、それぞれの力を貸していただければ、もっと大きなことが出来るのではないかと期待したいのです。

何はともあれ、お互いの求めるところを見える形にして力を合わせ、支え合える絆を強めていきたいものです。どうぞよろしくお願ひします。



『一龍齋貞花の会』講談を堪能！ — 文化部 —

師走に入った 12 月 6 日、講談会の重鎮一龍齋貞花師匠を玉川学園にお迎えして講談会が開催されました。天候に恵まれ約 100 名の方々にご来場いただきました。第 1 部は、「世界三大美女・美と若さの秘訣 人生楽しく 老花を美しく」と題する講話で歴史に名を馳せた先人たちの教訓を交えながらホワイトボードを使った解説とユーモア溢れるお話がありました。途中、クイズもあり、正答者には師匠直筆色紙が贈呈され、全員参加による講話を楽しみました。第 2 部では、12 月ならではの演目として、忠臣蔵義士銘々伝から「岡野金右衛門 恋の絵図面取り」。貞花師匠の円熟した話芸により、『講談』の神髓を堪能することができました。



こうして文化部で初となる講談会が盛況のうちに幕となり、充実感溢れる楽しいひとときを過ごすことができましたこと、来場者の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

末筆ながら、当講談会に彩りを添えていただきましたフラワーアレンジメントの会の皆様そして会場の運営・設営に当たられた役員各位にお礼と感謝の言葉を贈りたいと存じます。

2月19日 さくらんぼホール

クリスマス子どもの集い — 青少年部 —

晴天に恵まれ昨年実績より 10 人も多い 68 人もの子どもさんたちが集まってくれました。お母さんたちは後ろのイス席に、子どもたちは前に陣取り、「あったか座」の演舞がスタートしました。座長の誘いに一緒に歌い、踊り始める子どもたちは、演劇会の舞台の上に立っている子どもたちのようでした。「真っ赤なお鼻のトナカイさんは…」と大人も交え全員手話参加で終演となり、二木亭特製のクッキーをサンタからのプレゼントとして持ち帰ってもらいました。「あったか座」ファンがまた増えたように思います。



成人部からのお知らせ

3月に予定していました春の健康ウォーキングは都合により中止にさせていただきます。

新入学児童・入学お祝い金を贈呈します

平成 28 年 1 月末日現在町内会会員で、学齢期（小学校）を迎えられたお子様のいらっしゃるご家庭に、入学お祝い金（2 千円分の図書券）をお届けします。入学先は公立・私立を問いません。下記の平成 28 年度新入学児童お祝い金・申し込み書に必要事項をご記入のうえ、**2月8日（月）**までに班長さんへお届けください。

班長さんは 2 月 15 日（月）までに支部長さんへ届けてください。なお該当児がいない班も、その旨、支部長さんにご連絡ください。支部長さんは寄せられた申し込み書を 2 月 16 日（火）の支部長会の時にお持ちください。

資源回収の報告 — 環境部 —

12 月の回収は 141.3 トンでした。資源ゴミは当日朝の 9 時までに出してください。（古紙・段ボールは必ず紙紐で括ってください）

問合せは町内会事務所または
大興資源 045-929-4813 まで
* 不正回収を目撃した時は、日時、場所、回収車の車両番号などを町内会事務所まで

謹賀新年

年の初めにあたり
皆様のご健勝とご多幸を
お祈りいたします。



本年も町内会活動のニュースをタイムリーに、お知らせしたいと思います。（広報部一同）

1 月定例幹事会(1/12)報告

— 総務部 —

- 下記の審議・協議事項が承認されました
1. まちカフェ用町内会ポスター印刷費
 2. 東急台支部 2 箇所の案内板の撤去処分報告・連絡事項
 1. 会計報告書（12/6 貞花会）
 2. 会計報告書（11/26 日帰りバス旅行）
 3. 平成 28 年度定期総会の準備など
 4. 玉ちゃんバス南ルート説明会

裏面にも各種の案内・お知らせがあります。

* 一部ずつお取りください。

合同防災訓練「広場に災害救助犬が来るよ!」 —防犯防災部—

12月1日(火)にさくら保育園、中央幼稚園、こころ児童館の合同防災訓練が開催されました。子供たち181名、先生方36名、各駐在所から2名のお巡りさんと町内会の役員7名が参加しました。午前10時に、各園からこども広場へ避難が開始され先生方の誘導の下、全員スムーズに集合しました。今回の訓練は、「災害救助犬の捜索・救助訓練」の見学、「こども広場の危険箇所」探しと「町内会防災倉庫」の見学の3つがテーマでした。

最初の「災害救助犬の捜索・救助訓練」には、横浜安達警察犬訓練所から訓練士の方2名と救助犬のシェパード2頭、ラブラドル1頭が来て訓練を見せてくださいました。内容は、①災害救助犬についてのお話、②被災者捜索作業の実演、③犬と訓練士の役割のお話、④災害救助犬とのふれあい、でした。訓練士の指示に従い、「待て、来い」の動作や、被災者を発見すると大声で吠えて知らせたり、テントの中にいる人を発見したりの大活躍を見学しました。最後の子供たちとのふれあいでは、大きな犬たちに最初はこわごわとしていた子供たちも、おとなしい犬たちの体に触らせてもらって大喜びでした。

「こども広場の危険箇所」探しでは、壊れかけているフェンスや傾いた電信柱、広場に転がっている大きな石や窪みを発見し、先生に報告して大きな地図に書き込みました。子供たちの観察力に驚かせられ、子供の目線で見たときの違いを感じさせられました。

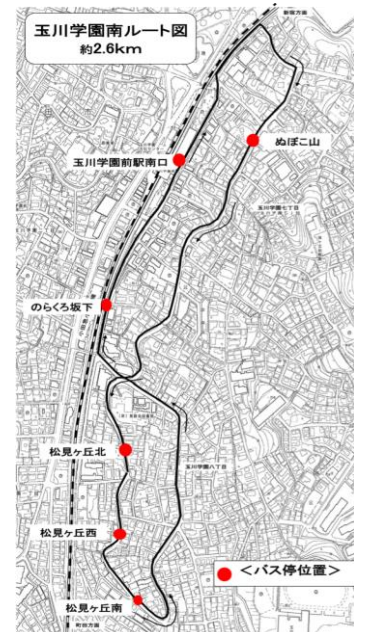
「防災倉庫」の見学では、スタンドパイプや誘導ライトや救出工具に興味深々でした。タンカに乗せられたり、リヤカーでの搬送体験をしたりで大喜びでした。最後に先生方からお話を伺って約2時間の訓練が無事終了、各園に戻りました。



玉ちゃんバス南ルート^①の運行開始について

玉川学園交通問題協議会・コミュニティバス推進委員

玉川学園地域の誇るコミュニティバス=玉ちゃんバスは、2005年の運行開始以来、昨年10月には、累積で550万人の乗客数を達成しました。当初からの計画であった南ルートは、諸般の事情で開通が遅れていましたが、最近では毎号のように情報をお届けしてきましたように、(難産の末?)ようやく運行開始のお知らせができる段階に至りました。1月7日には新聞発表があり(読売新聞・多摩版など)11日号の広報まちだで公式発表となりました。認可を待つ立場の小田急バス(株)は慎重ですが、2月1日を以て開通となる予定です。既存のバス車内広告や、新しいバス停留所にバス時刻表とともに開通のお知らせが張り出されます。玉川学園前駅改札口前にも新しい時刻表が用意される予定です。駅前町内会事務所にも用意します。



バスルートは添付の図の通りですが、残念ながら道路事情で当初の計画にあった南大谷方面への延伸は叶わず、周回路線長は2.6km、さらに新設停留所数も4箇所に留まっています。地区説明会などで、今後も増設のご協力をお願いしていきます。なお、料金は他の路線と同じで180円(ICカードでは175円)、都のシルバーパスも適用となります。

ゴミの減量をお願いします! —環境部—

2年前から開催されていた町田市役所の町田市廃棄物減量等推進審議会において、「2020年度までに2009年度比で、ゴミとして処理する量を40%削減」の達成を目指すために、2015年度から2020年度を計画期間とした、更なるゴミの減量を推進するための行動計画が決定されました。2013年度にゴミとして処理された量は約99,400トンですので、「40%削減」では、39,400トン近くを減量しなければなりません。これは不可能のように思えますが、2020年には、現在、燃えるゴミとして生ゴミとともに燃やされているプラスチック類(約25,700トン)の分別収集が開始されますので、残りの13,700トン減量すれば良いことになります。年間13,700トンの減量は、町田市民1人1日あたりの「ゴミ量」で考えると、約85.8グラム(みかん1個分)の減量だそうですから、達成できない量ではありません。ゴミ減量の具体策として、各家庭が関係してくるのは、1)生ゴミ3,000トン、2)紙類2,500トンの減量です。各家庭においては、「生ゴミ」の減量をお願いします。生ゴミの減量には、1)買すぎない、2)使い切る、3)食べ切るの3点をお願いします。それでも出てしまった生ゴミは「水切り」し、できるだけ水分を抜いてください。

もうひとつお願いしたいのは、古新聞・古雑誌・段ボール以外の紙類の資源化です。食品・お菓子の箱、チラシ類、ノート・メモ用紙、包装紙などは、現在、燃やすゴミとして出されており、燃やすゴミの約10%を占めています。これらを紙袋などに入れて、「古紙・古着の日」にゴミ集積所に出してください。これによって、紙類が資源として再利用可能となります。皆様のご協力を是非ともお願いいたします。

玉川学園コミュニティセンターの建て替え

40年に亘って親しまれてきた駅前のコミュニティセンター(旧称玉川学園文化センター)を建て替えるため、地域の団体代表者や学識経験者等11人で構成される「玉川学園コミュニティセンター建替基本計画策定検討委員会」が2014年1月から活動してきましたが、検討結果をまとめた報告書が昨年11月4日に、町田市に提出されました。報告書では、建替後のセンターを「住民が集まり、楽しく交流し学ぶことの出来る場所」、「地域の景観を向上させ、人々に親しまれる場所」と位置づけ、施設機能の在り方を具体的に示しています。傾斜地の不利にもかかわらず、バリアフリー仕様に重点を置き、地域文化の交流に留まらず発信拠点として機能しようという意欲的な計画となりました。町田市はこの報告書を受けて、市としての基本計画の詰めを行っており、完了後発表されます。さらに基本計画に基づいて新年度には基本設計から施工へと進め、2019年に竣工の予定となっています。

詳細は検討過程を含めて町田市のホームページでご覧になれます。<http://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/com/>
また上記の報告書(36ページ)は、下記URLからダウンロード出来ます。
<http://www.city.machida.tokyo.jp/community/shimin/com/tamagawahoukou.files/houkokusho.pdf>

切り取り線

平成28年度新入学児童お祝い金・申し込み書

会員氏名	新入学児童氏名	住 所	電 話 番 号